特別
14
3164
180

聖武天皇 尒時佛

尒時佛告羅睺羅汝於來世當得作佛号蹈
七寶華如來應供正遍知明行足善逝世間

光明皇后 寶豐足

寶豐足受用不相侵奪隨彼宿因而受其報
不起惡念貪求他國咸生少欲利樂之心無

後光厳院 映九郎

時雨

[illegible]

祝部成久宿禰

[illegible]

平軌貞

[illegible]

[illegible]

平貞宗

[illegible]

文保百首 [illegible]

[illegible]

後圓融院 あきもれとこ

あらしふきすつやかものみねのさく
いろくこのはやもとゝろよはっ
ら風

天暦御歌

[illegible]

[illegible]

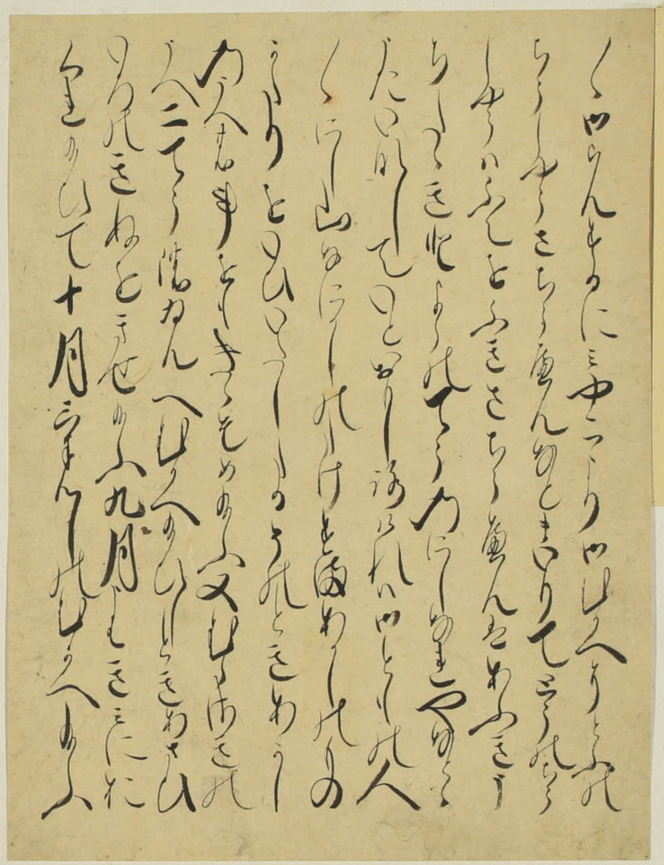
[illegible]

伊勢

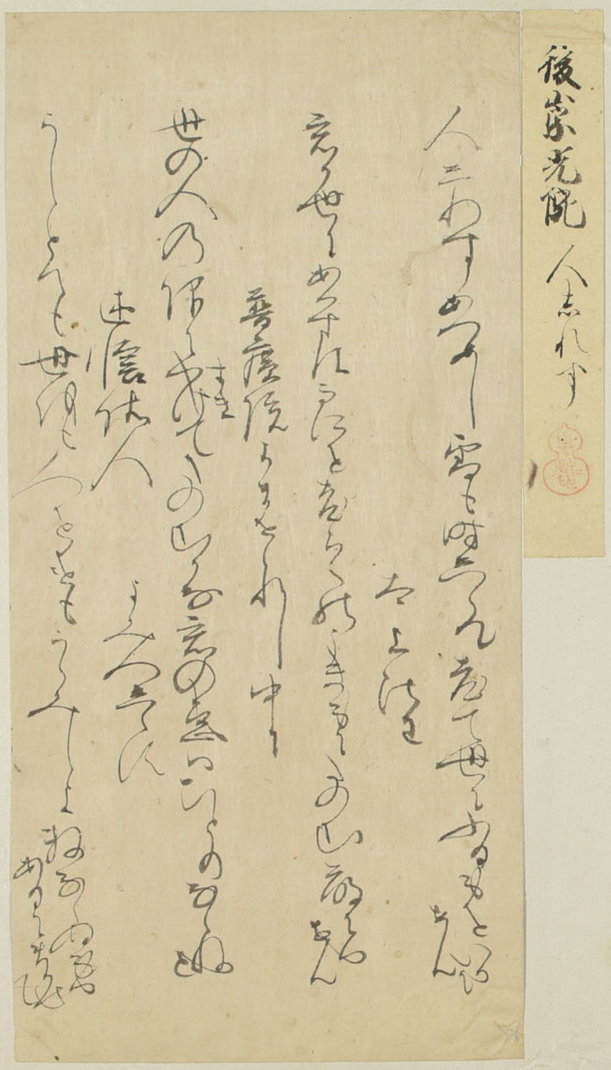
[illegible]

[illegible]

後花園院　くはらん



後宗光院　人忘れず

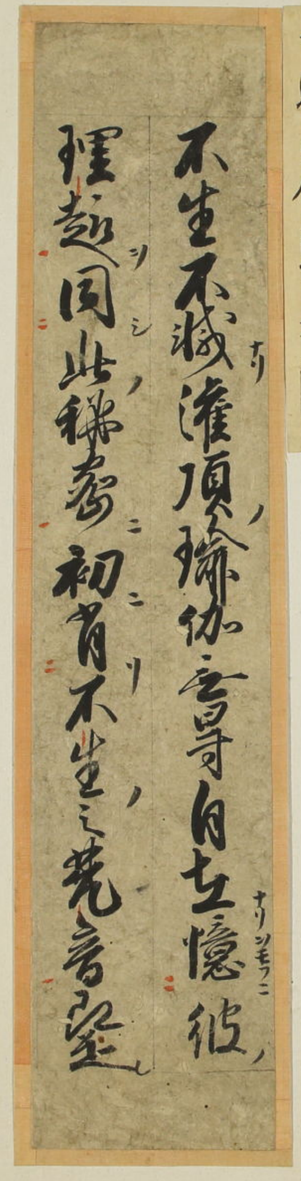


尊良親王 後醍醐帝ノ宮

昨日山中之

昨日山中之木枝取於已今日庭前之花詞慙於人

宗智仁親王ノ法名

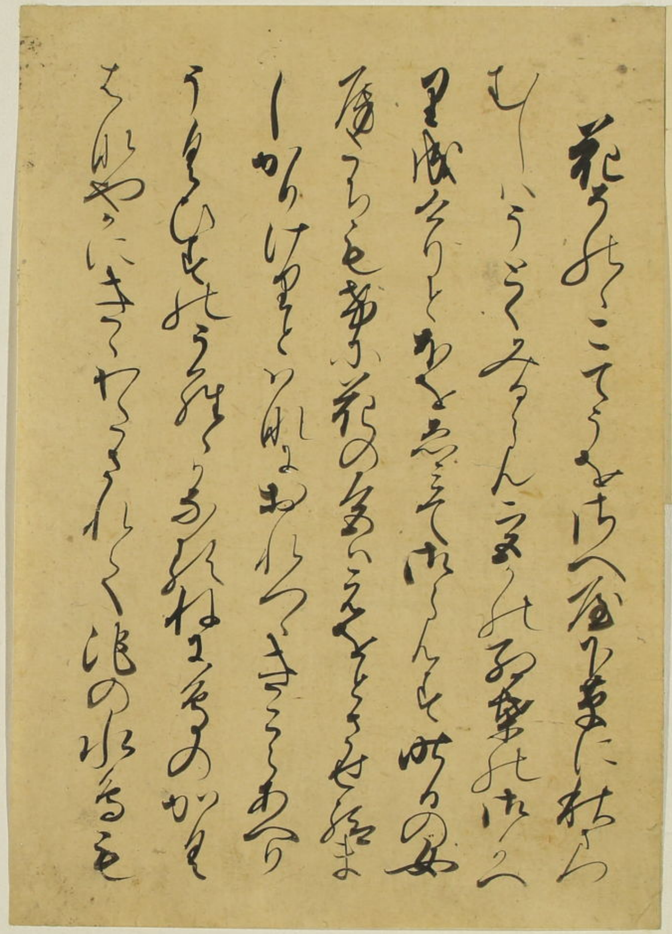


青蓮院尊慈道法親王

不生不滅淮頂瑜伽言寄自土憶彼
理趣同此稱揚初月不生光音遥

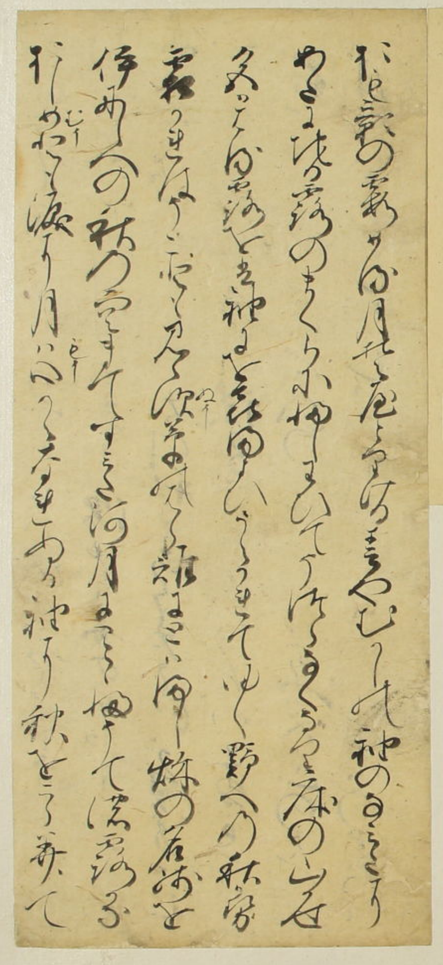
蓮院殿尊傳親王

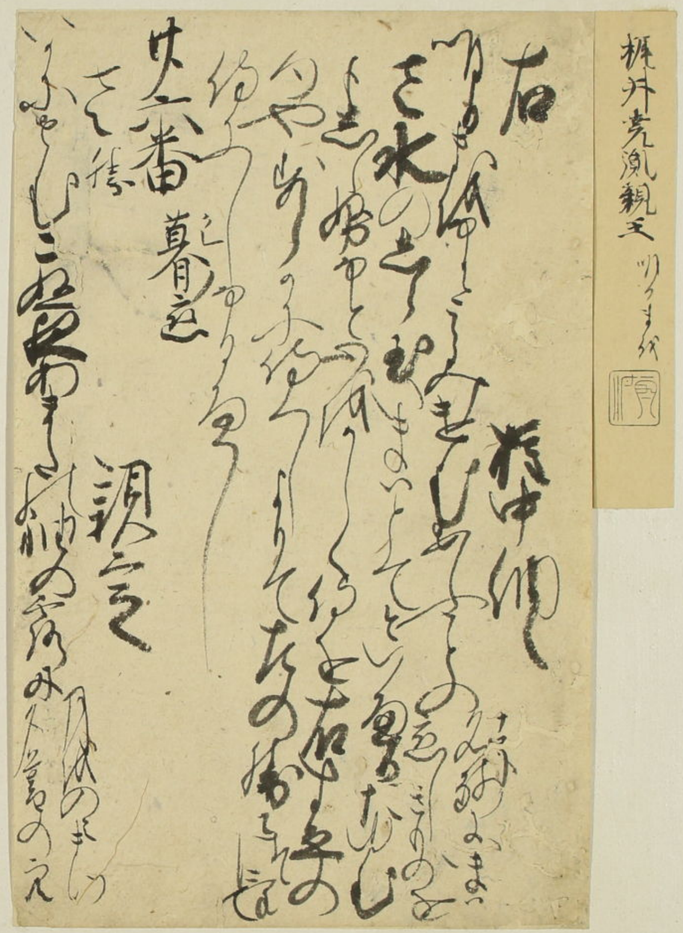
青蓮院尊純親王

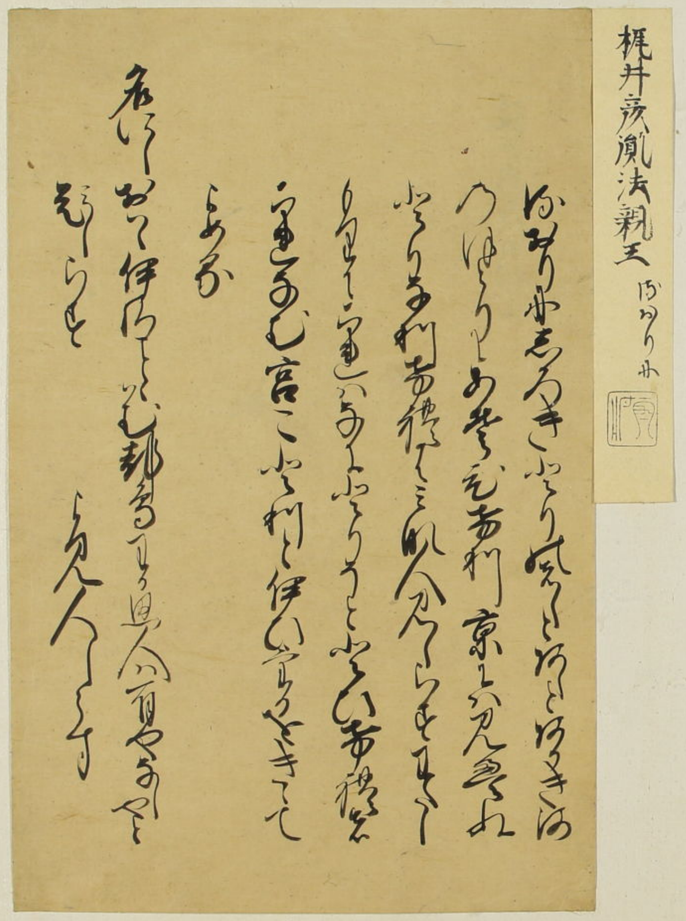


聖護院道勝親王

聖護院道應親王







梶井殿靖菴

如意院良純法親王

摂政太政大臣

越前

信尹卿通光

愛殊院慈運親王

[illegible]

前参議

[illegible]

[illegible]

聖護院殿道増准三后　君の御方

藤原雅世卿

為尹卿

儀同三司

将軍義教

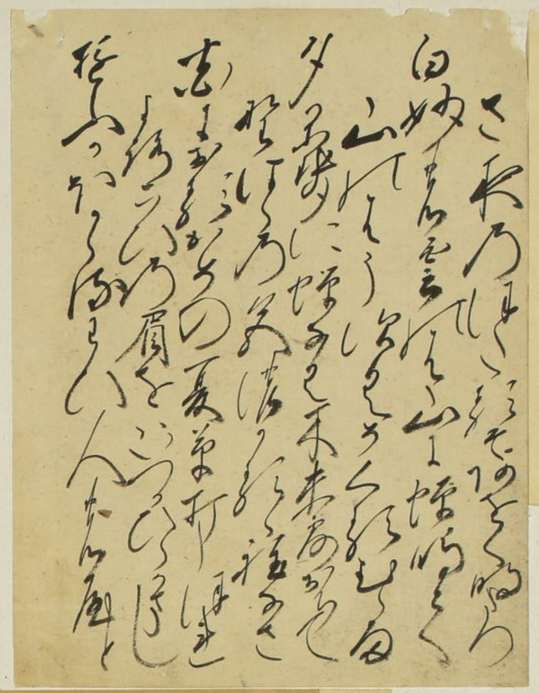
大納言公任

一条院覚誉大僧正　きさいの宮

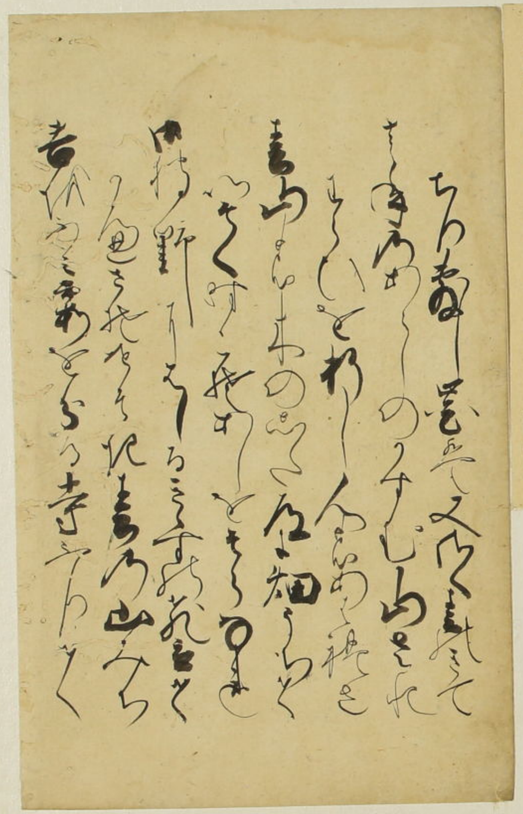
秋の紅葉

秋の紅葉

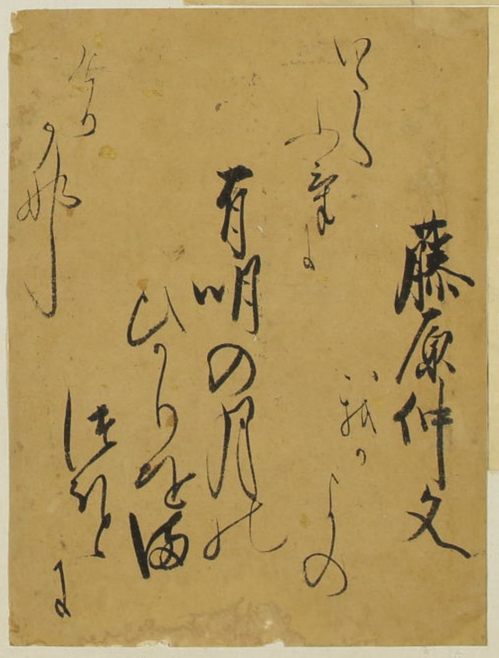
秋の紅葉



定法寺公助僧正



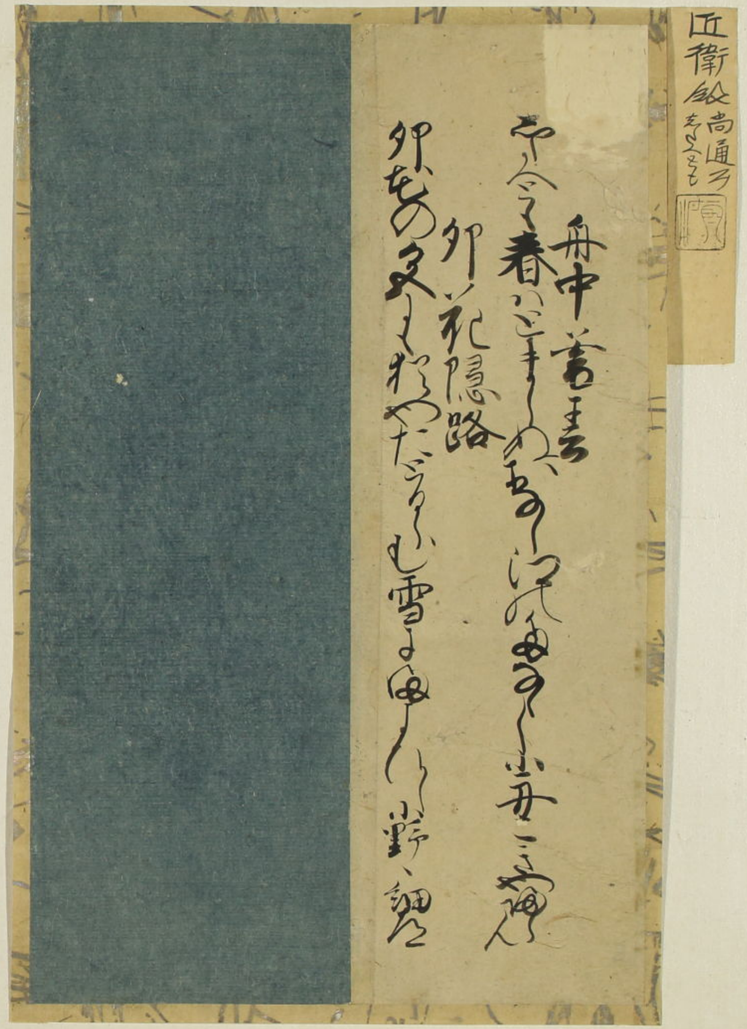
一乗院良誉大僧正



藤原仲文

一乗院殿良政有明の

近衛殿龍山清判形



近衛殿高通ヲ

第三依求門院指依憑別日縁既改依並無道
依求慨率以期值遇吏十方三世補家善薩
將成正覺先任慨率豫重修勝業嚴淨其
家可謂稱上中淨土也事是鄭重勿輙輕弄
矣於善薩所居有外院有内院上生住云若
我任世一少切中廣說不能窮盡我求横河

長河以前
玉川の水
寛耀贈都
雨後晴
古集五言題百首の春苔滿山徑
將軍家三首
山路雲

洞院殿公賢公 梅付紅梅

十三 梅 付紅梅

千載 白行落梅浮澗水黄葉新柳出城墻 春至 白

千心三春 梅花帶雪飛琴上柳色和煙入酒中 壹孝標 早春初情所寄

漸薫臘雪新封裏偷綻春風未扇先 寒梅結早花 村上御製

青絲絲出陶門柳白玉裝成庾嶺梅 春苑 江相公

花山院殿 定誠

橋本殿公夏卿 宏山公より

清水谷殿 實秋卿

南座十首

依紅葉恋

遠望眺紅

轉法輪殿公敦公 ひさふさ

山科殿 言綱卿

源仲正

待賢門院堀河

橋本殿公夏卿 宝山公より見

清水谷殿實秋卿

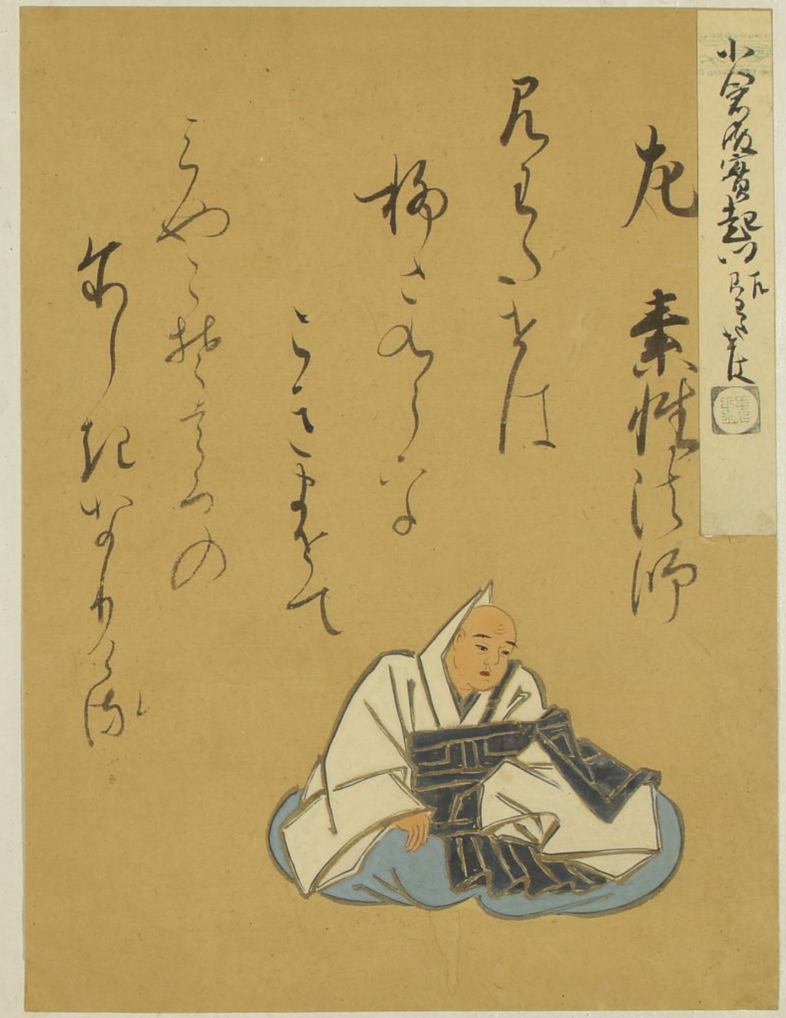
南座十首

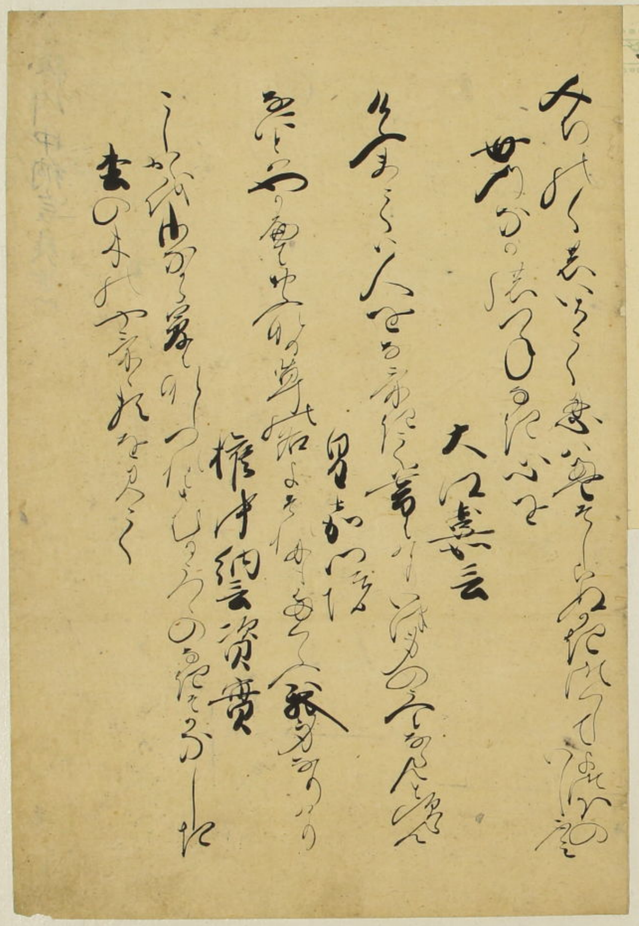
依花忘物

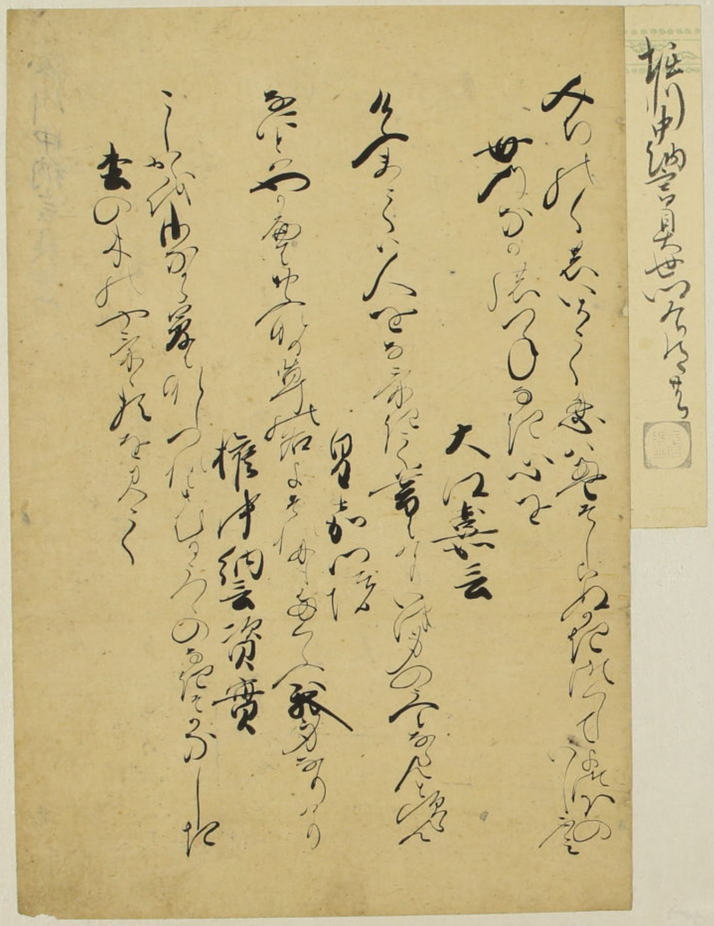
遠望花

山科殿顕言卿

源仲正


少宮殿賀契
尼
素性法師


堀川中納言貞世卿
大江嘉言
権中納言資賢



清水谷殿実久 [illegible]

すこしたのみぬへきさまにやありけんふして
おもひおきておもひわひてよめる

あふなあふなおもひはすへしなそへなく
たかきいやしきくるしかりけり

むかしもかゝる事は世のことはりにやありけむ
昔おとこありけりいかゝありけむそのおとこすます
なりにけりのちにおとこあれと子ある中なれは
こまかにこそあらねと時々物いひおこせけり
女かたに絵かく人なりけれはかきにやれりけるをいまの

採薪及菓蓏随時恭敬與

よはひをも法のためとて
身のこれるのあまして

万里小路殿惟房卿 [illegible]

甘露寺殿元長卿 是を

是より奉る人の大明神の御前にとる人 詞書略之

続古六

賀茂

我たのむ人いたづらになしはてば又雲わけてのぼるばかりぞ

中宗師光朝臣

拾遺

櫻宮

神風や伊勢のはまをぎをりふせて旅寝やすらむあらき浜辺に

西行

祇園

誠

続後拾九

三条院行幸の時東遊に

ちはやぶる神のいがきにはふくずも秋にはあへずうつろひにけり

経衡

円九

北野之文

ちはやぶる神の小野にはなるまでもかくれぬ跡を契りしものを

中山殿宣親卿 ちはやぶる

ちはや人々きゝて

ちはやぶる神の斎垣にはふくずも秋にはあへずうつろひにけり

貫之

あはれともいふべき人はおもほえで身のいたづらになりぬべきかな

忠岑

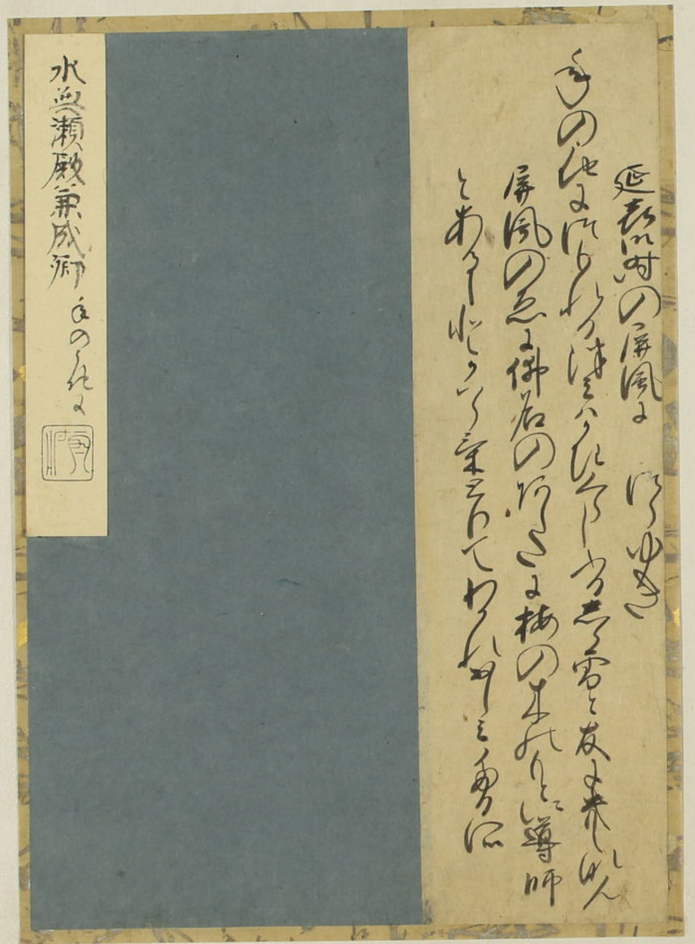
年ふれば神もあはれとおもふらむ

恵慶法師

ちはやぶる神のみまへの榊葉にかけてぞたのむ

後徳大寺左大臣

水無瀬殿兼成卿　ものの花々



水無瀬殿兼成卿　をのえ

飛鳥井殿雅綱卿 袖ぬらす

よみ人しらず

袖ぬらす時雨なりつる我方はいかに待らむおりんさ侍り
人のいみしけれと家にありけるに
梅の花に君いはるともちていつはりの雲といふ
敦忠朝臣方より梅かりそめの年の雪の下のあれ
よりも家にしてこれまゐりて折さつら侍
なかつゝそよみ侍ける

清正

君か為一言やいつはりそ白菊のわかきやまさかりさ
おやのまさしき寺にまうてきたりけるを
つけてよろこふ侍りてましか挿頭とくの
よし

よみ人しらず

飛鳥井殿雅親卿 あふ事を

藤原のこれたゝ

あふ事をそれ年月と契りしは命や恋のかきり成らん

中院右大臣中将に侍りける時命にてまかりけるに

恋歌とてよめる

藤原宗恵朝臣

恋をのみ涙の川に身をなさんこの世にても逢せあらやと

前参議親隆

くちはてぬなからの橋にくらへ見ん恋すれは人に恋ゐたる

逢日増恋といふことをよませ給ひける

院御製

恋まさるけふの涙にくらふれはきのふの袖はぬれし数かは

六條殿有純卿　呈月乃

中御門殿宣胤卿

久世殿もしくも題有為

夕納涼

通音

世尊寺殿行能卿

世尊寺殿行尹卿ちの

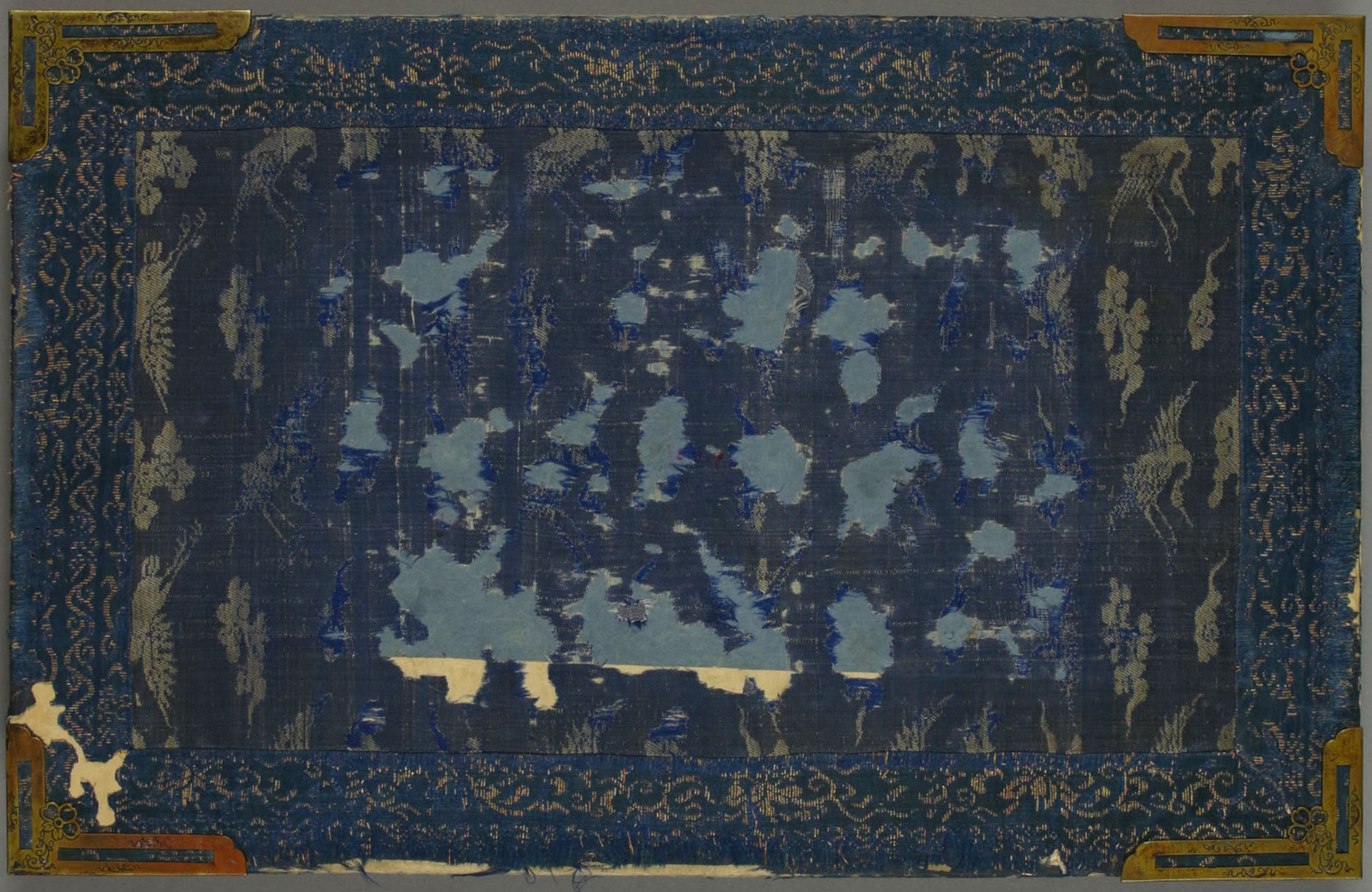
ちのみこのうわさせるやうも
あてあるものなれども人をば
あわなる
春の池乃なかれわて
ちるのゆかけのうゆいけのうみとへ
やまきのまゆうまつえこえる
けるこれつまき花をしみる西そて
かくすうちて世をやいつくてぬ
ちるのときなもあるとうるへく

行成卿

[illegible]形無量身　皆悉得成就　頭目髓腦　御堂今作佛
内秘菩薩行　外現是聲聞　少欲厭生死　實自淨佛土
元衆有三毒　又現邪見相　我為子如是　方便度衆生

小野道風朝臣　諸梵

諸梵見此相　尋來至佛所　散華以供養　并奉上宮殿
請佛轉法輪　以偈而讃歎　佛知時未至　受請默然坐
三方及四維　上下亦復尒　散華奉宮殿　請佛轉法輪

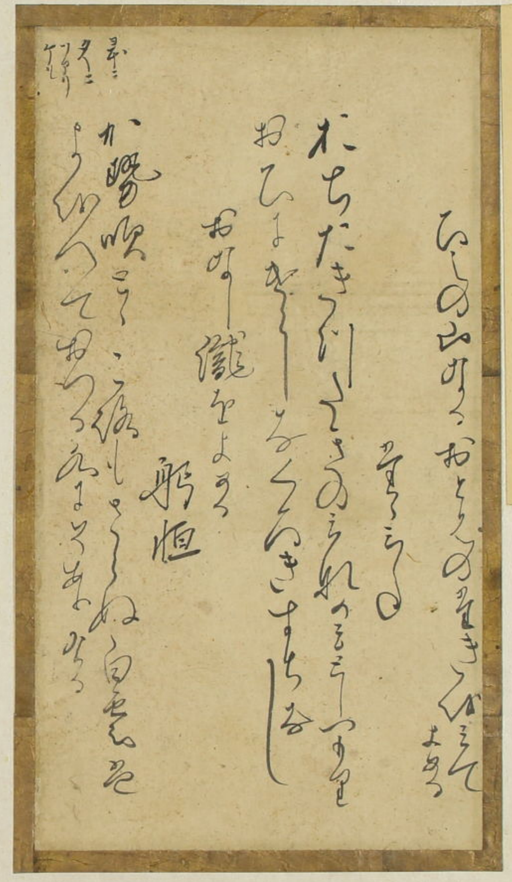


魚養善入

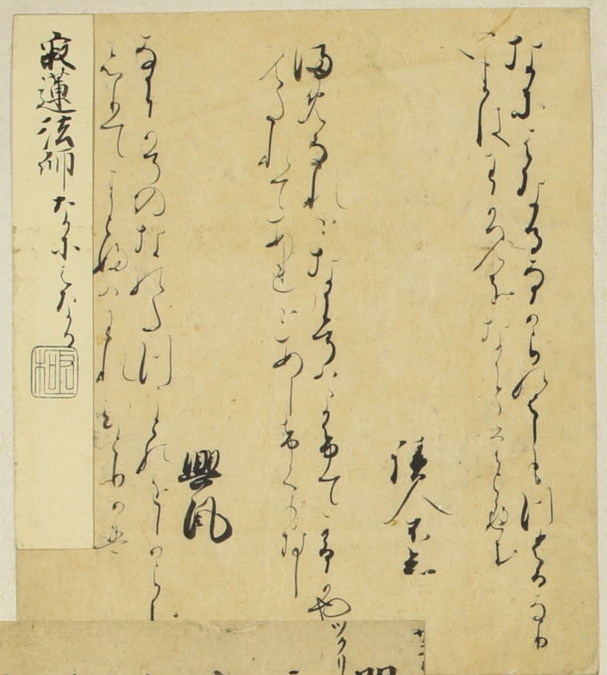
善入甚深 諸禪愛分別了知一切三昧
清淨智慧 了達三世一切世間 所不能知
身口諸業及與意業 音聲語言 皆悉清淨

梅尾明恵上人是因縁

是因縁教授經法是人至心受持誦習持誦
習已獲得智慧得智慧已能善思惟如法而
住善思惟已則得正義得正義已身心寂靜
身心寂靜已則生喜心喜心因縁心則得定
因縁得定故則得正知見正知見已於諸有



法然



本願寺啟實如上人

間ノヒトツ

間ノヒトツ三心ニ生死ノ无常ハシリカホニ
シテイトハス淨土ノ往生ハ子カフトスル
トモイコトナシ穢土ノイトハシキコトヲ
シリテ極樂ノ子カハ心ヽコヽロハシコ心ナリ
念死念佛ノ二念要心ノ寂要ナリイツ
念死トイフスハワカ身ヲ蜉蝣ノアタナル心

慈鎮和尚　いはけなき

読人不知

いはけなき霞もけさはたちかへり
あかぬ春とはなりにしものを

紀貫之

いたつらにまつことのはのさかりなん
ものいはぬ春まなりにけるかな

中納言行平

右

春のきるかすみのころもぬきをうすみ
山かせにこそ乱るへらなれ

為家卿　あふことは

わかせこかわれてあはむといひしを
よはこえてまつほとにけるかな
おもいかねて人しれすこそ
わかなかはたえなむとおもへは
うらみやはてし人のこゝろを
はるかなるのちのよまてとおもへは
つれなくもあはれとはかりみしほとに

小野宮太政大臣

忠平

二條家為氏卿 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山家選年とりつんをすこ[illegible]

[illegible]

二條家[illegible]卿 [illegible]

貫之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右衛門督公任卿

[illegible]

[illegible]

大中ト納言

新勅撰和讃集巻第十

釋教哥

土佐国室戸にて所すて

弘法大師

法性のむろとの山にいでしかは
うきよをすくはんとなりけり

大石寺八つ目の岩にて

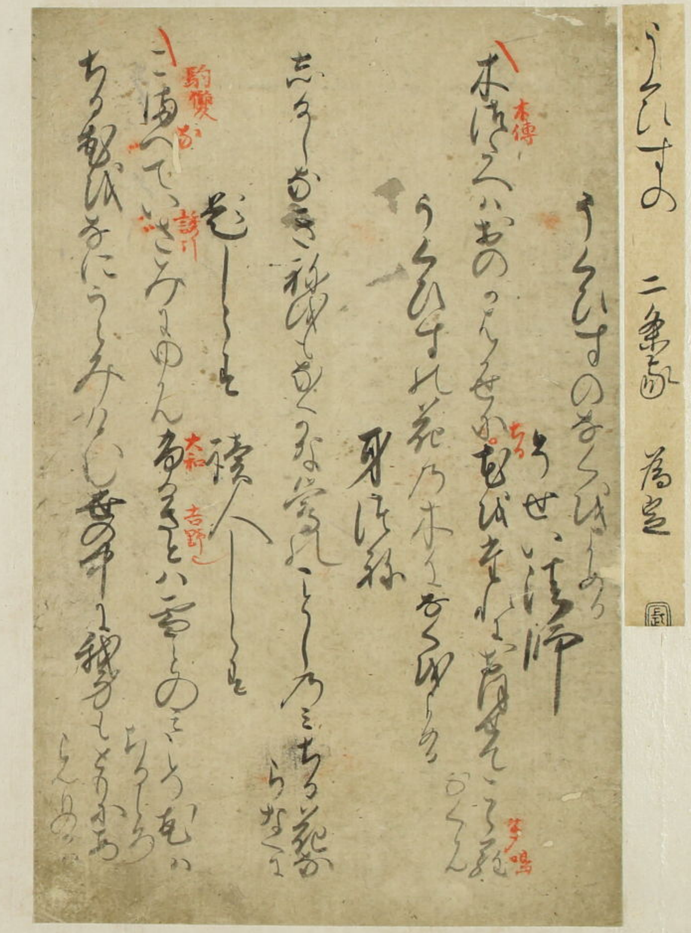
清水寺定為業

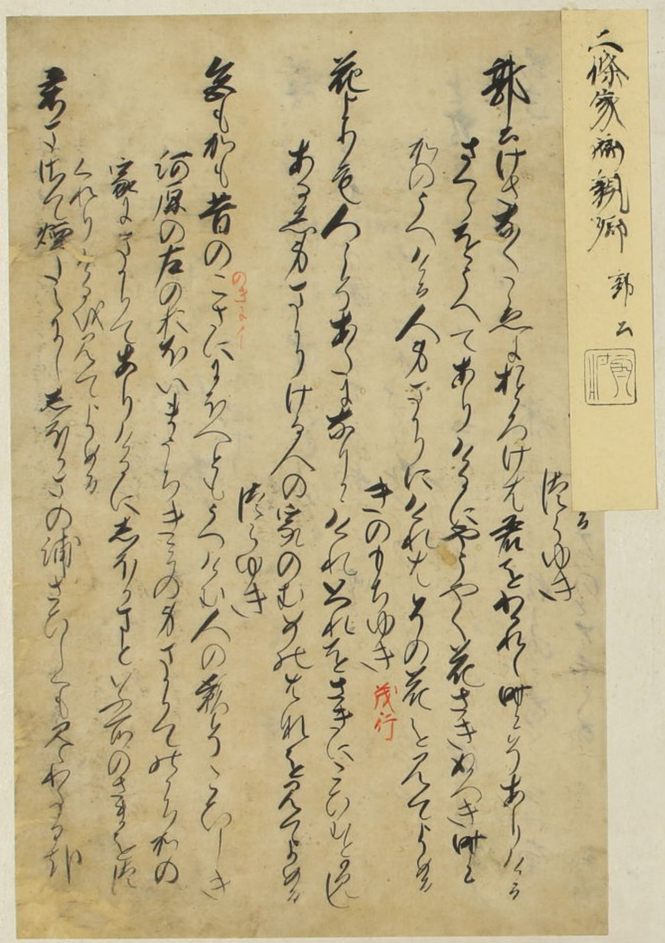
特進藤原

代一和清水寺定為行真師
安堵之意

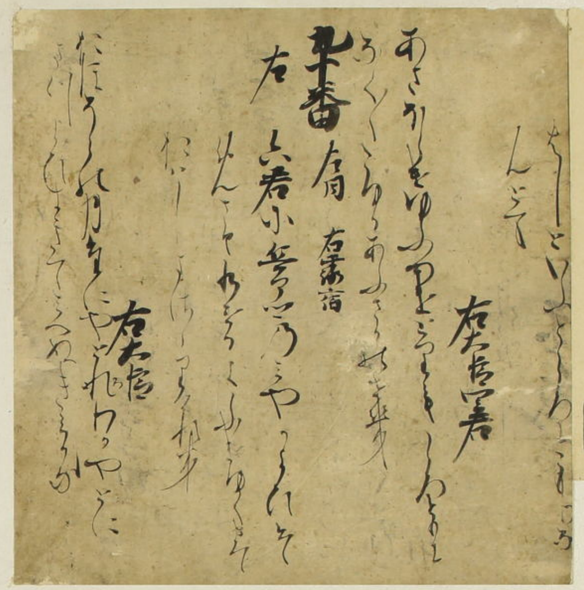
寛永元年

八月廿五日　光能在判

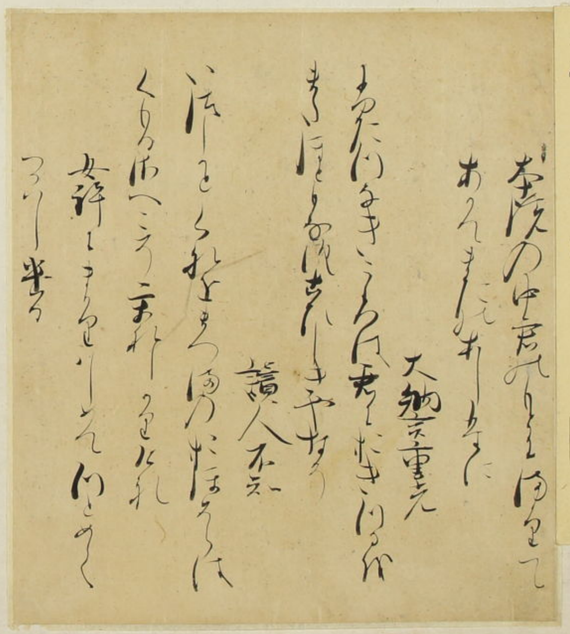




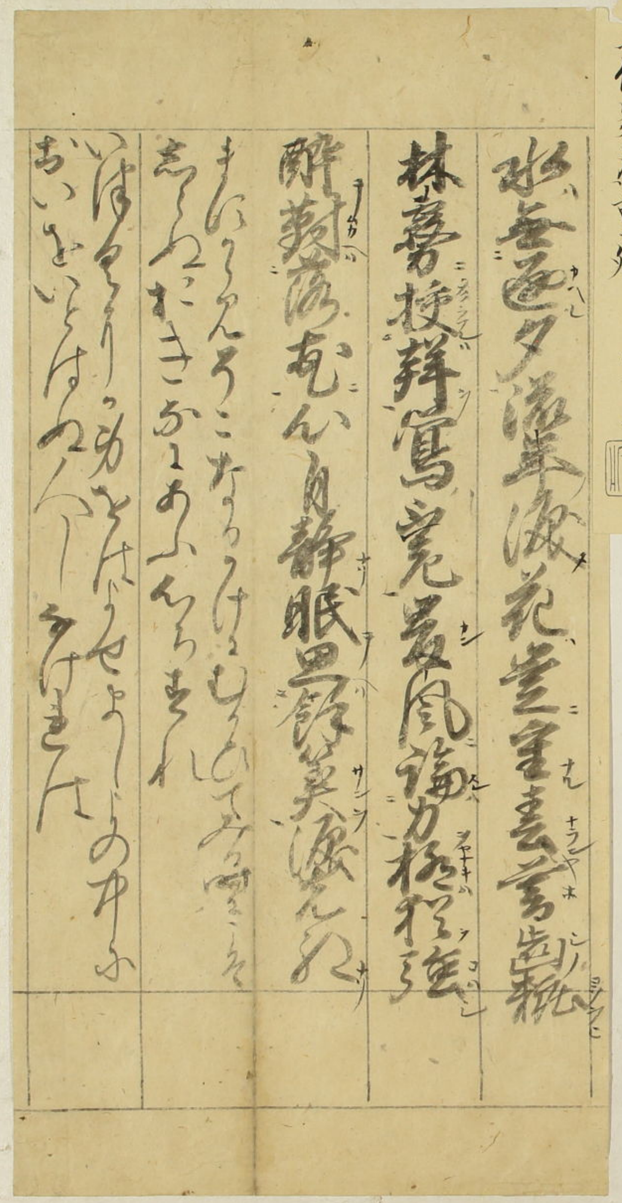
二條家為明卿 あさうもと



二條家為忠卿 本院



二條家為重卿 水無瀬



二條家 為右 元秀

藤原宗秀

よしのゝまはたつてゝ春ゝ
ゆきれし月のうけふなくゝ
昇殿ゆるされし時

ゝ

卜部兼熙朝臣

ゆきれつゝ雪井乃ゝ色もはれきた
ゝゝかひめるゝ春ゝとそきく

二條家 為右 元秀

永久元年四月十首哥合 野宰相

家中納言宗家

ゝすゝの乃ゝかすゝこゝ
しのふもちすゝとゝ
歌しゝ

伊勢

ゝゝすゝゝゝゝゝ
ゝゝれゝゝのゝゝ

二條宰相資俊

ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

冷泉殿為相卿

読人不知

ゆきにをれなこそ休ふらしつゝ
われこそゆきをいとはしけれ

冷泉殿為秀卿

[illegible]
[illegible]
私記しとゝ[illegible]
[illegible]
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

藤原秀能　千載二後入代二集

雪のふりもるをみて

きさらぎのふるあめ

冬こもりかすみたちけりをとのはら

雪のあるうへ　きさらぎのあめ

雪のまぶかりかすみたちけり

冬こもりかすみたちけりをとのはら

雪のふりもるをみて　雪のうへのあめ

大智院殿義視公

万葉集

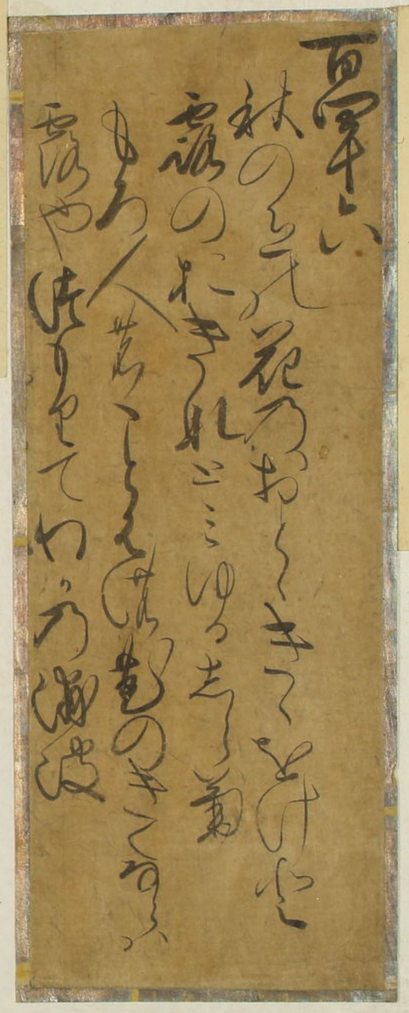
水鶏　藤原家隆

日暮

きりのまとしめたてこめて水鶏

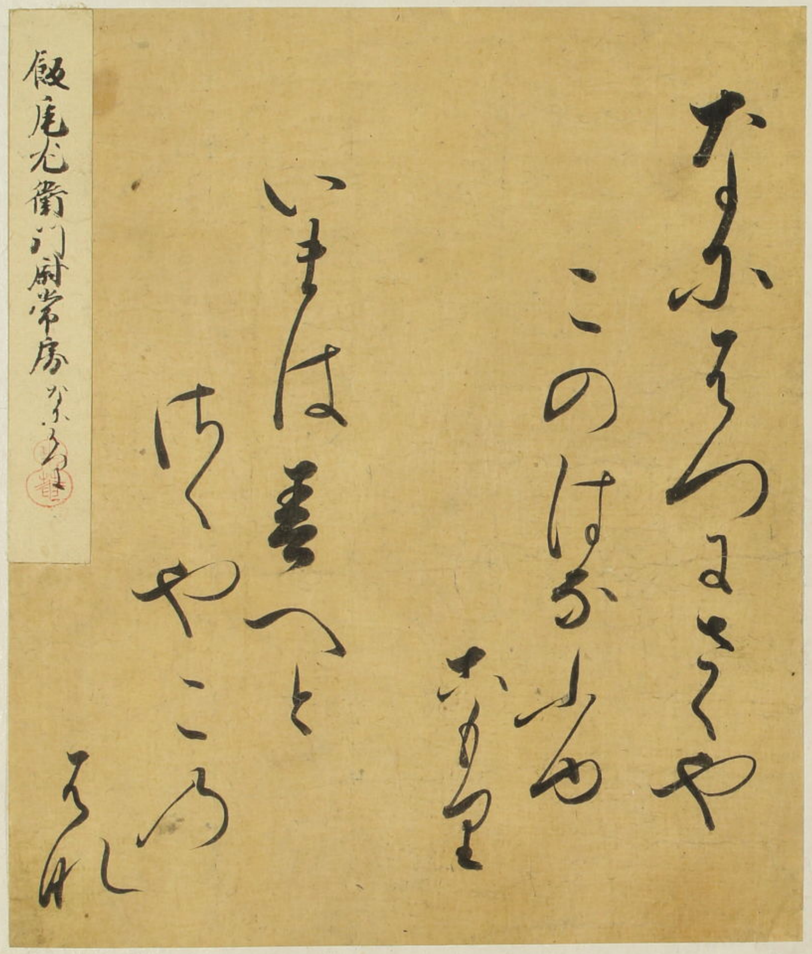
夏

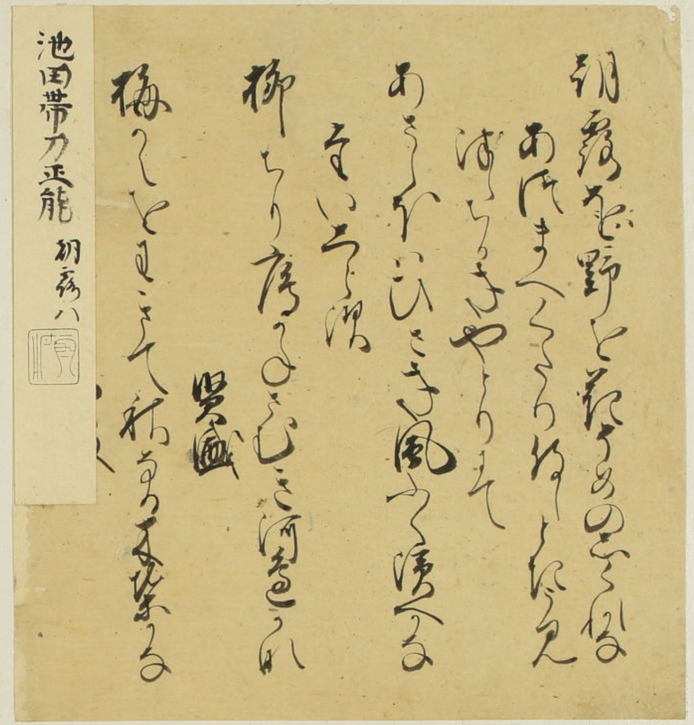
今川了俊　百字千句　秋の色紙

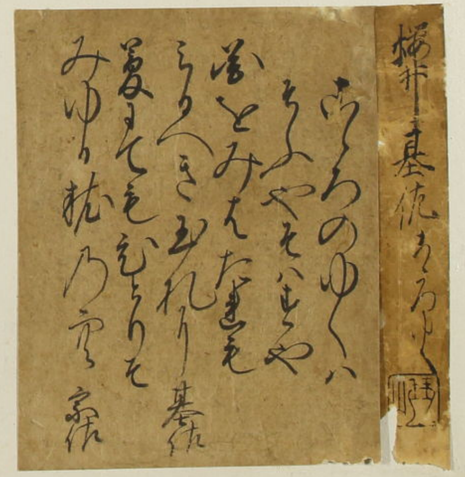


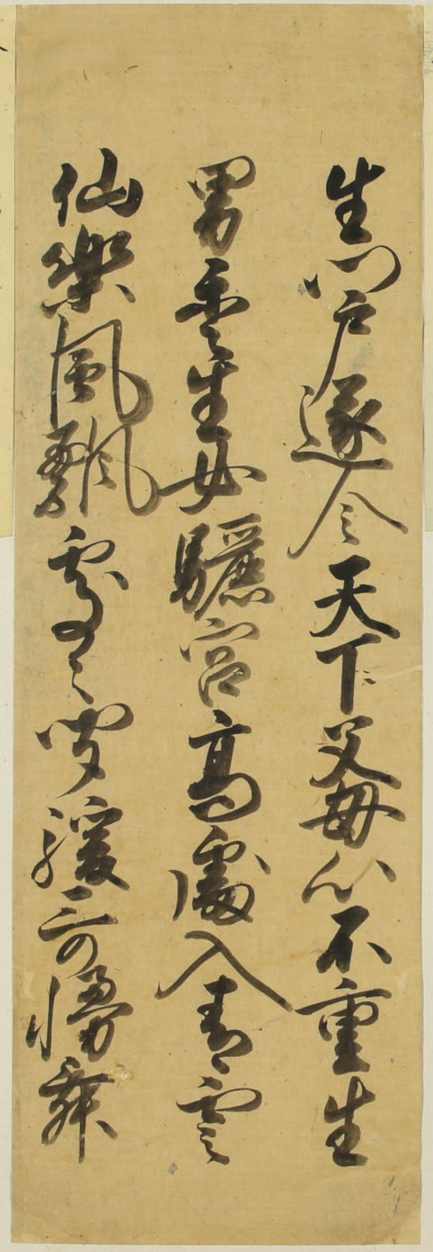
八條左京大夫氏政　和歌巻

飯尾左衛門尉常房　なすの色紙

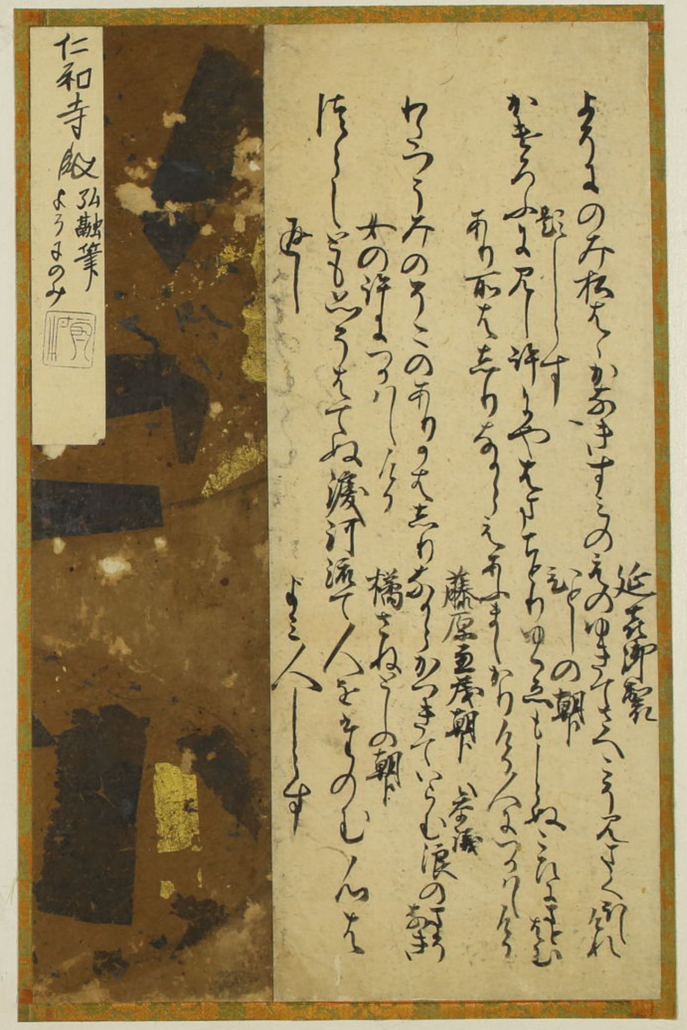



池田帶刀正能


橘井基佐


橘長清

蜷川親當



仁和寺殿 弘融僧正 よろよのみ

延喜御製

藤原直房朝臣

橘さねもとの朝臣

兼覽王 八 後八 よろよのみ

藤原基房

住の江の松にとひさしうちぬれぬ袖にこのはをかけ
なかしの舟にあひてはるをれこま
るちりぬるはちるのやまのみてはるをれこま
さるとてらみてつくりける

侍場

みわの山いつるはちすの人はあり
野しん

雲林院のみこ　常康親王　仁明の子

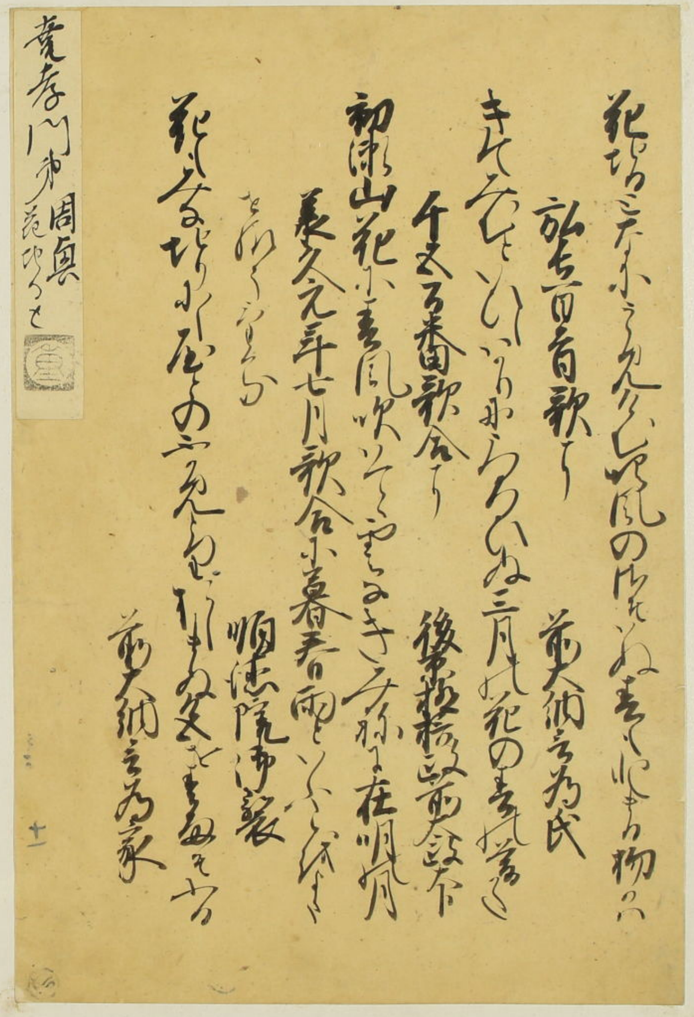
吹風に野はとしをへぬ人のの

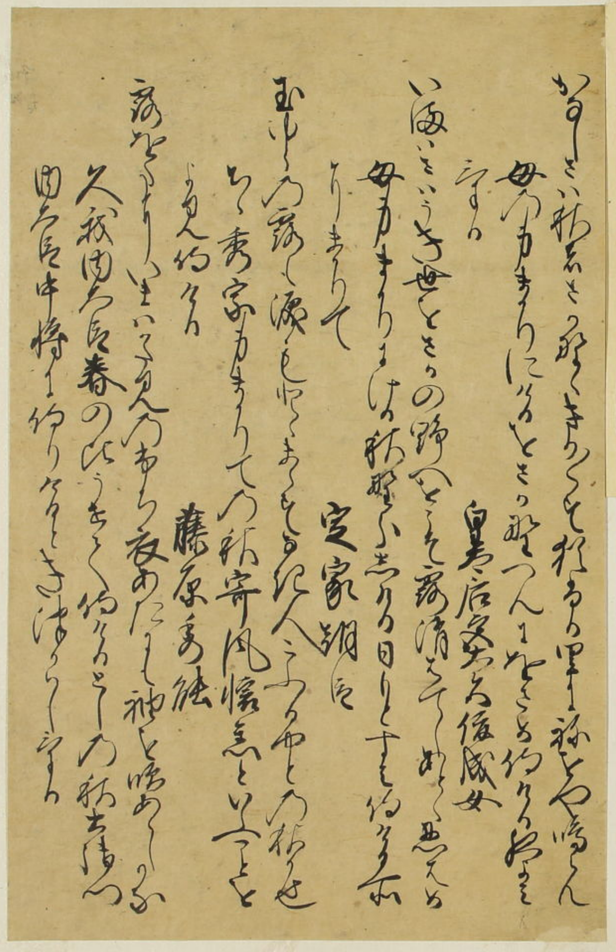
大江千里

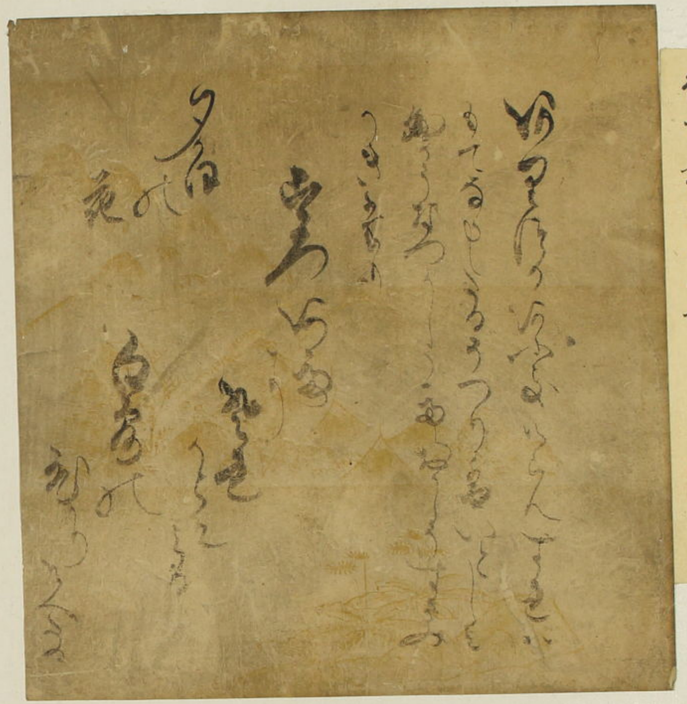
平常顕

藤原定家朝臣

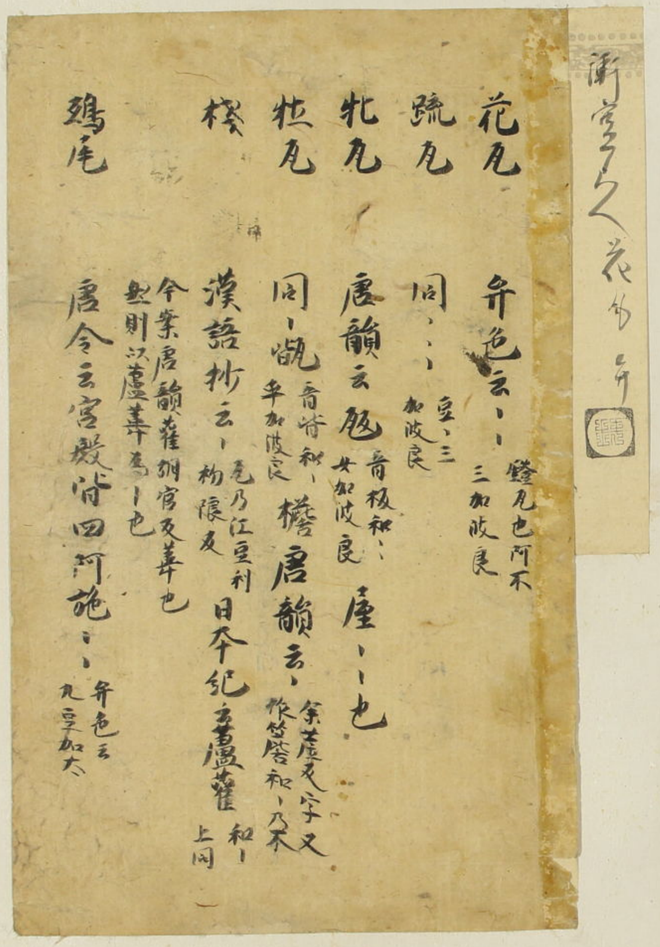
堯孝門弟圓雅





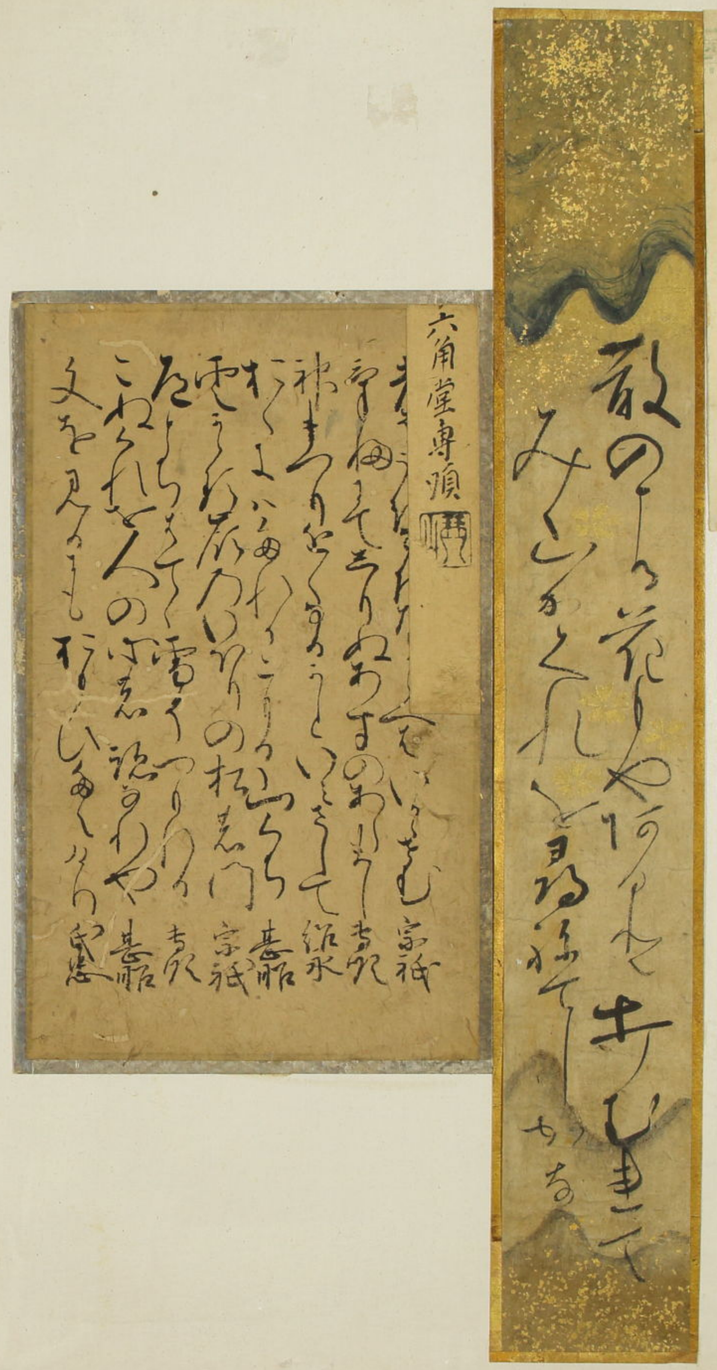


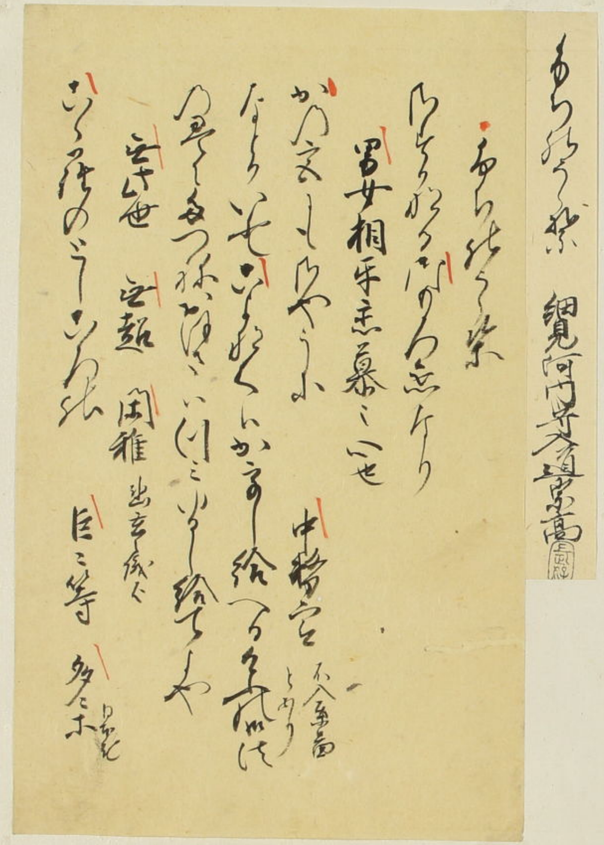
徽書記門人正般 [illegible]



衝宮ヲ人花形 [illegible]

花凡　弁色云〻〻　鑾凡也所不
疏凡　同〻〻〻　豆〻三　三加波良
牝凡　唐韻云　魁　音板和〻　女加波良　屋〻〻也
牡凡　同〻　凱　音皆和〻　平加波良　檐　唐韻云〻　余屋反字又作笞檐和〻乃不
樓　漢語抄云〻　毛乃江豆利　杓陳反　日本紀　玉篇　和〻　上同
鶏尾　今案唐韻雉列宮反葬也　如則汉虛葬云〻也
唐令云宮殿府四阿施〻〻　弁色云　凡豆字加大





庭田雅英卿

遠帰鴈

[illegible]

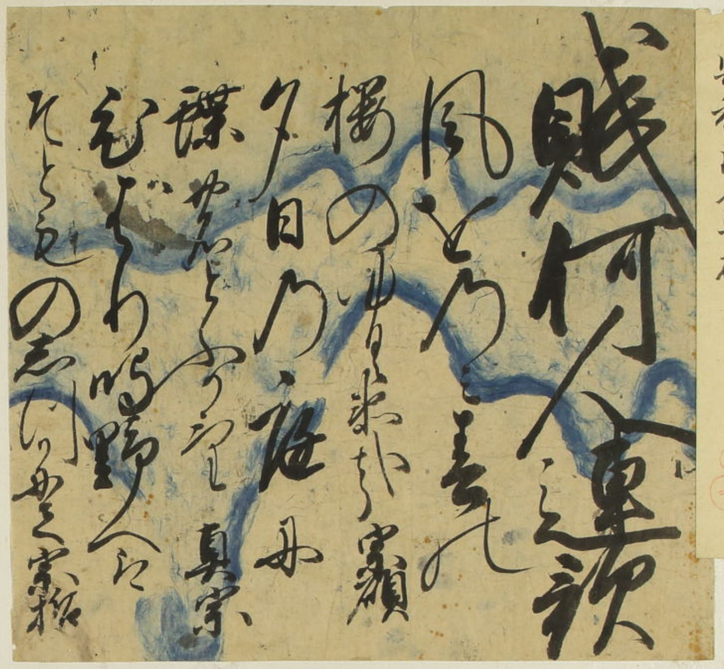
山花

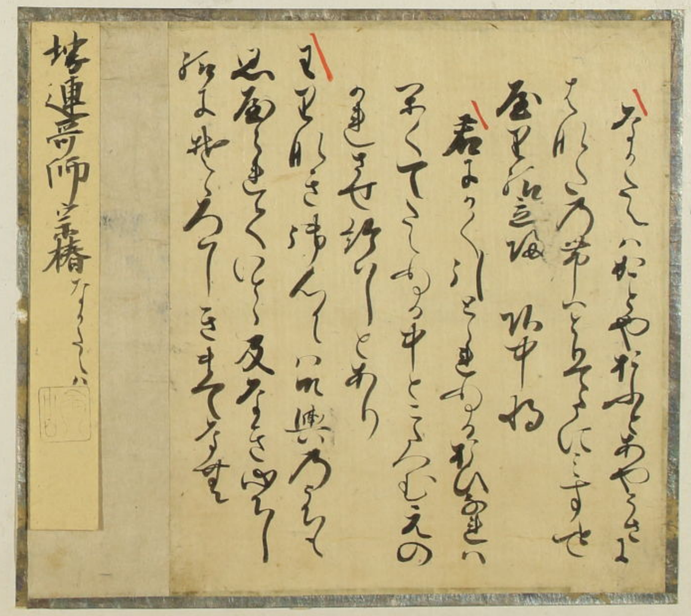
[illegible]

連歌師周桂

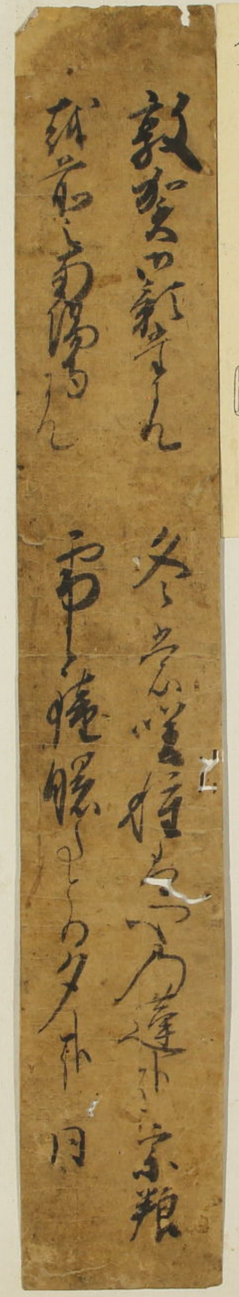
連歌師寿慶

宗祇門人宗碩

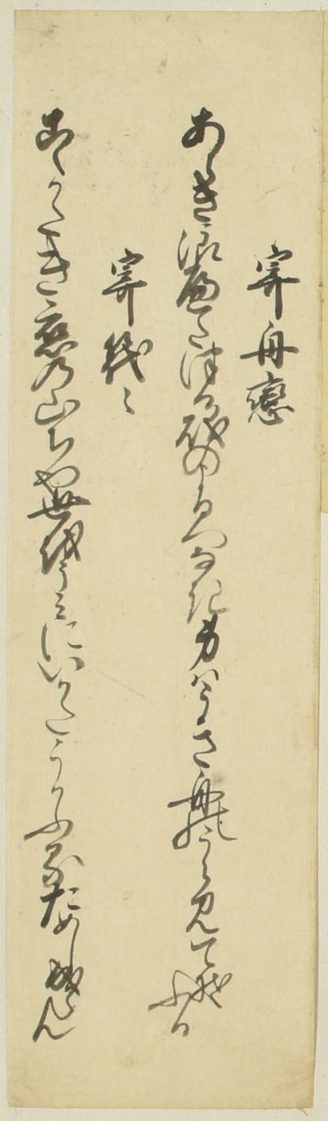




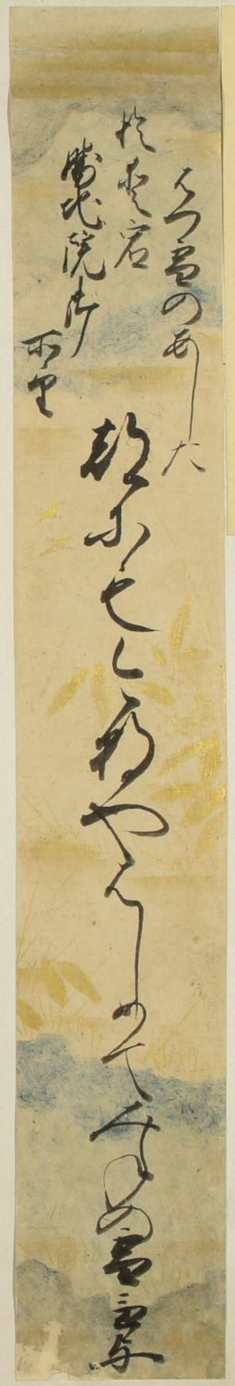
連歌師宗長



梅軒宗匂

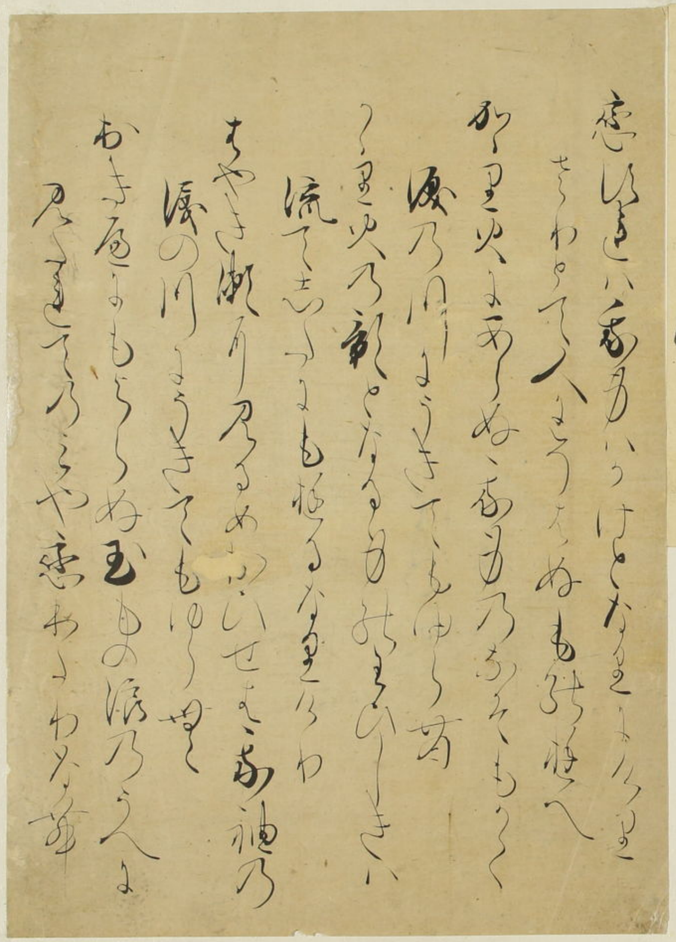


稲荷代参与助ゝと有る



小野松梅院

秋庭の庵



古筆手鑑　秋蛇藏